

2021年度

車両安全対策の総合的な推進に関する調査 (車両安全対策に係る評価・分析の方針(案))

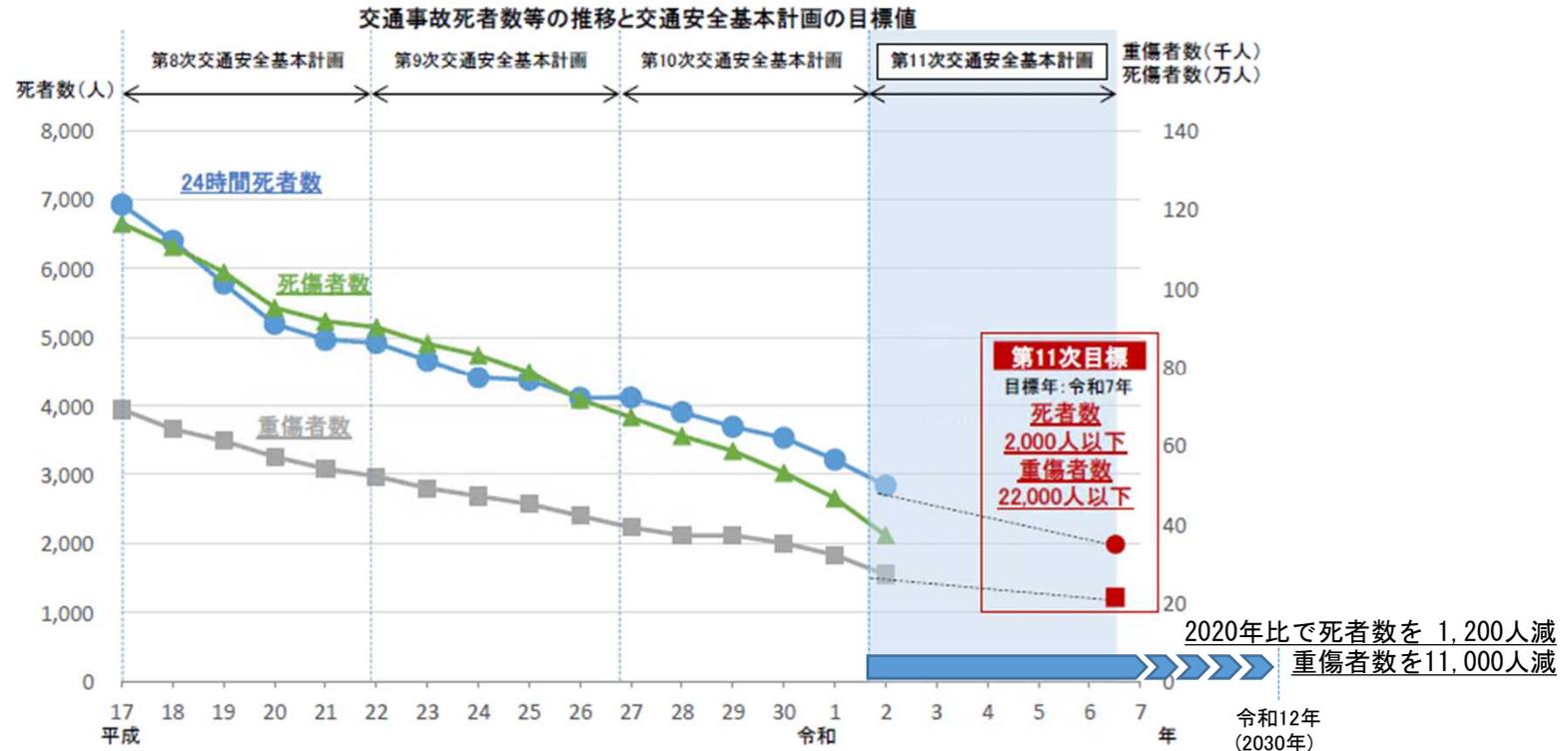
背景（交通政策審議会報告書）

《目標》

車両安全対策により、2030年までに**死者数1,200人削減**（2020年比、30日以内交通事故死者数）
2030年までに**重傷者数11,000人削減**（2020年比）

《重点項目》

- ① 歩行者・自転車等利用者の安全確保
- ② 自動車乗員の安全確保
- ③ 社会的背景を踏まえて重視すべき重大事故の防止
- ④ 自動運転関連技術の活用・適正利用促進



※2021年自動車安全シンポジウム資料をもとに作成

交通政策審議会報告書「交通事故のない社会を目指した今後の車両安全対策のあり方について」（令和3年6月：以下「交政審報告書」という）において、**車両安全対策による交通事故死者数および重傷者数の低減目標**及び今後取り組むべき**車両の安全対策**が示された。

車両安全対策に係る近年の実施内容

事故俯瞰分析（2013年度、2017年度実施）

マクロ事故データを用いて事故類型別に俯瞰分析を実施し、安全対策の検討に資する基礎資料を整理

- ・ 主な実施内容：
 - ✓ 事故類型別に過去10年間の死者数及びその年次推移（減少傾向、増加傾向などの傾き）を整理
 - ✓ 普及が進みつつある車両安全対策の効果を踏まえ、今後重点的な対策が必要な事故類型を整理

事故詳細分析（事故調査・分析検討会、2014～2020年度実施）

俯瞰分析の結果などにより対策が必要とされた事故類型に対して、マクロ事故データ及びミクロ事故データ等を用いて、具体的な対策の検討に資する分析を実施

- ・ 主な実施内容：
 - ✓ 四輪対歩行者事故（横断）
 - ✓ 四輪対自転車事故（追突、出会い頭）
 - ✓ 高齢運転者を対象とした車両単独事故

効果予測（2018年度実施）

予防安全装置への期待を鑑み、その事故削減効果を推計

- ・ 主な実施内容：
 - ✓ 予防安全装置ごとに対象となる事故を抽出し、各装置の「適合率」「危険検出率」「安全作動率」を考慮して見込まれる事故低減数を試算

事後評価（2016～2020年度実施）

交政審報告書の車両安全対策による交通事故死者数の低減目標に対する達成状況を把握するとともに、その評価方法を検討

- ・ 主な実施内容：
 - ✓ 車両安全対策の装備車両群と非装備車両群に分け、群ごとの事故率・致死率を調査
 - ✓ 評価年での実際の死者数と、基準年(2010年)と同じ装備状況（各車両群の比率）と仮定した時の死者数との差を求め、死者数削減効果を評価

本年度の調査実施内容案

調査実施内容の骨子

- ① 交通安全基本計画及び次期交通政策審議会報告書における次期削減目標の達成に向け、一層の車両安全対策の強化を目指し、将来必要となる対策を検討するため、**昨今の事故発生状況の俯瞰的な現状把握**を実施する。
- ② 事故詳細分析については、昨今の高齢運転者による交通事故状況を踏まえ、昨年に引き続き、**高齢運転者事故の傾向**を調査する。

① 事故俯瞰分析

課題 1 : 次期削減目標の達成に向けて、今後着目すべき事故類型を検討するため、事故類型別に過去10年間の死者数及びその年次推移（減少傾向、増加傾向などの傾き）を俯瞰的に整理し、将来的に重点的な対策が必要な事故類型を把握する。

② 事故詳細分析

課題 2 : 高齢運転者事故に対し必要な安全対策を検討するため、四輪単独事故に次いで死者数の多い四輪対歩行者事故の発生状況を把握する。

本年度の俯瞰分析実施案

① 事故俯瞰分析の概要（課題1）

次期削減目標の達成に向けて、今後着目すべき事故類型を把握するため、事故類型別に過去10年間の死者数及びその年次推移（減少傾向、増加傾向などの傾き）を俯瞰的に整理し、将来的に重点的な対策が必要な事故類型を整理する。

〈分析の視点〉

最新10年間である、2011年～2020年の事故データを対象とした俯瞰分析を実施

（過去の俯瞰分析 2013年度（分析対象：2008～2012年）、2017・2018年度（2008～2017年））

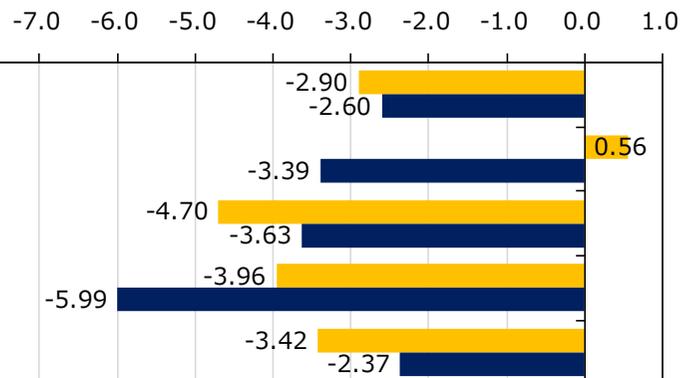
視点1：最新の事故データによる「死者数」や「死傷者数」が多い事故類型の把握

視点2：新たに削減目標が設定された「重傷者数」が多い事故類型の把握

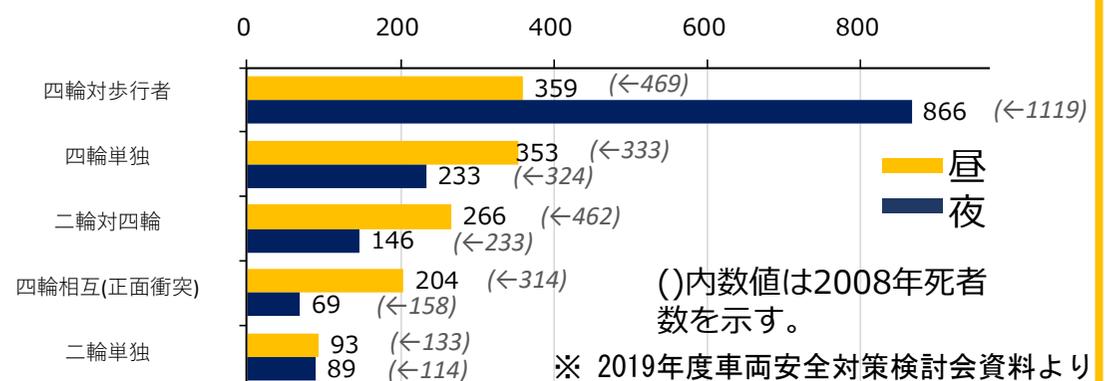
視点3：最新の過去10年間での年次推移を整理し、事故類型別の増減傾向の把握

（視点3の傾向分析における2020年の事故データの取り扱いは、視点1、視点2の結果を見ながら検討）

変化率（死者数の年次推移の傾き：0未満は減少傾向）



2017年の死者数



最新の事故データを用いた俯瞰分析を実施

2020年までを俯瞰的に整理し、
コロナ禍の2020年の特徴を鑑みながら増加傾向の分析など進める

本年度の事故詳細分析の実施案

② 事故詳細分析の概要（課題2）

2020年度に実施した四輪単独事故の詳細分析に引き続き、高齢運転者事故に対し必要な安全対策を検討するため、高齢者が第1当事者となる事故のうち、2018年において四輪単独事故に次いで死者数の多い四輪対歩行者事故の発生状況を把握する。

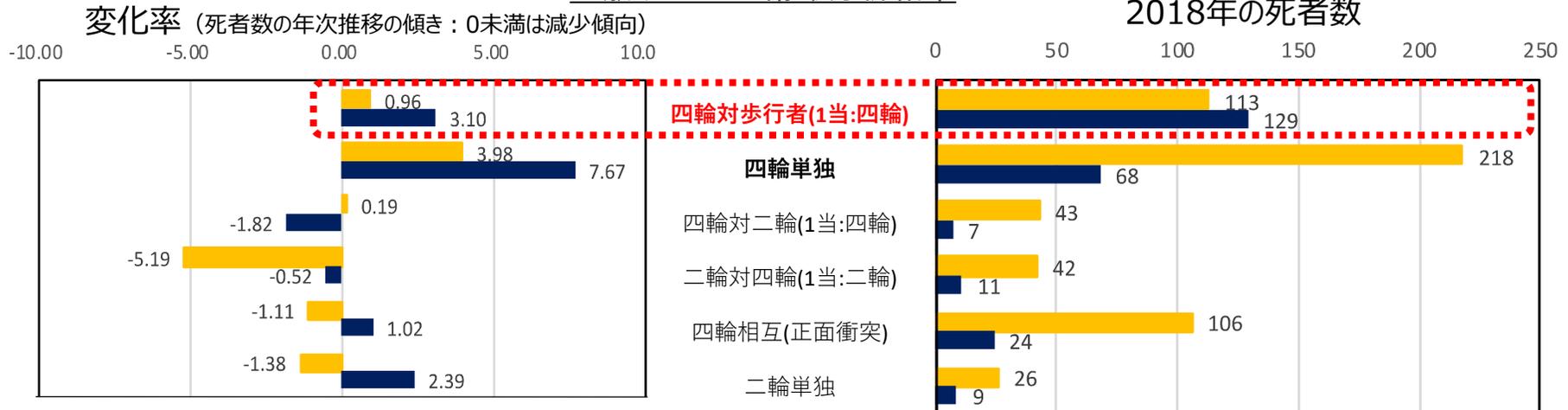
〈分析の視点〉

高齢者が第1当事者となる四輪対歩行者事故はどのように起きているかをマクロ事故データを用いて整理

視点1：昼夜、場所、速度、地形、人的要因、歩行者の法令違反など、幅広い視点からみた特徴の整理

視点2：運転者年齢の細分化や、クロス集計等を用いた発生状況の深掘りによる特徴の整理

65歳以上での俯瞰分析結果



高齢者が第1当事者となる、四輪対歩行者事故の発生状況について整理

2019年または2020年のマクロ事故データを対象として俯瞰的に分析し、
高齢・非高齢による発生傾向の違いや、その他の特徴を整理する

検討会での対応について

車両安全対策検討会

<2021年度実施内容>

①事故俯瞰分析

②事故詳細分析

・高齢者事故の四輪対歩行者事故

結果報告

(第3回車両安全対策検討会を予定)

車両安全対策事故調査・分析検討会

<2021年度実施内容>

②事故詳細分析

・高齢者事故の四輪対歩行者事故

検討要請